非核・いしかわ

2019 年 12 月 20 日　月刊第 257 号

〒920-0848 金沢市京町 28-8　石川民医連労働組合気付
非核の政府を求める石川の会
TEL 076-251-0014　FAX 076-251-3930
http://hikakuishikawa.com/

非核五項目
① 全人類共通の課題として核戦争防止、核兵器廃絶の実現を求める
② 国是とされる非核三原則（つくらず、もたず、もちこませず）を厳守する
③ 日本の核戦場化へのすべての措置を阻止する
④ 国家補償による被爆者援護法を制定する
⑤ 原水爆禁止世界大会のこれまでの合意にもとづいて国際連帯を強化する

核兵器禁止条約の調印は 80 か国、批准は 34 か国（12 月 15 日現在）

1 面　能登(志賀)原発をめぐる反対闘争の歴史 ～赤住・福浦・西海を中心に～　志田弘子
3 面　沖縄で起きていること ～知って、学んで、つながって　高里鈴代
4 面　「安政の泣き一揆」足跡を訪ねて　永山孝一
5 面　＜会員エッセー＞ 沖縄と憲法９条の碑　米山幸子
6 面　氷河が示す気候変動の危機　河野　晃
非核＋非ＡＩ兵器　伍賀一道
7面　もんじゅには・・・　岩原茂明
7 面　届きましたか・・・　山口修治
8 面　＜トピックス＞核兵器禁止条約
いしかわの戦争遺跡めぐり　中西　優
絵手紙コーナー　坂本朋子
非核・平和の掲示板

【講演要旨】

能登（志賀）原発をめぐる反対闘争の歴史

～赤住・福浦・西海を中心に～

友禅染絵師　志田弘子

講師の志田弘子さん

闘いの記録ノート

「闘いの記録ノート」があることを知り貪るように読みました。そんな資料は全部で一一冊ありました。この資料には「この真実への威嚇と侮蔑の言葉は部落民が全部知っている。この書は後日のために証拠として残す」と綴られています。その資料をたどります。

始まりは突然

一九六七年七月（昭和四二年）

北陸電力は能登原発候補地四地点を公表し、一一月志賀町赤住六〇万坪と富来町福浦五〇万坪にまたがる建設計画を発表しました。

一度も住民と会合せず、マスコミを通じての一方的な発表でした。

赤住も福浦ももめる

志賀町赤住は地区の交渉委員長を決め、委員長は地主に委任状を配り、「価格をすべて交渉委員長に委任する」と書いてあり、承服を強制する内容でした。

福浦は原発反対期成同盟を一二軒で結成。青年行動隊長の中町良雄さんは克明な日誌を書きはじめました。何も知らない漁民が「どうやって反対すればよいか」。社会党、共産党、三里塚空港反対同盟等に相談し、昼は漁業をしながら、夜、勉強会を続け、学んだことをチラシに書き続けました。

一九六八年（昭和四三年）

志賀町全員協議会で赤住、福浦地区は原発建設案を受け入れました。

反対派は「断固として原発建設に反対する」が用地買収工作は進みます。

一九六九年（昭和四四年）

推進派は総決起集会を二回開き、対策協議会をつくり、婦人会や青年団員など一三五〇人程が参加しています。

町長から町民へ

推進する町長からのメッセージが来ますが、半分脅しの内容です。

「赤住においては用地買収は進ん

花鳥風月

先月二三日～二六日カトリック教会フランシスコ教皇が訪日、長崎・広島の集会で祈り、メッセージを発し、被爆者らと会談した。メディアでの識者の評価は高く積極的であった▼長崎で発せられた「核兵器についてのメッセージ」を読んだ。「私達の世界は、手に負えない分裂の中にあります。それは、恐怖と相互不信を土台とした偽りの確かさの上に平和と安全を築き、確かなものにしようという解決策です」に教皇の情勢認識をみた。克服すべきテーマ「核抑止力論」への反論も▼東京での安倍首相との会談の報が続いた。核兵器禁止条約締結への貢献を訴えた教皇に対して、「唯一の戦争被爆国として、核保有国と非核保有国との橋渡し役を果たしたい」との相も変らぬフレーズで逃げた▼信者・市民に基盤を置く超世俗的権威に対して、政治世界の代表である首相の「使ってはならない核兵器の脅しによって世界を軍事的不安に陥れ、軍拡需要を喚起したい」という大企業・軍需産業の熱望を受けて行動している立ち位置が判りやすい▼メッセージは続く「数えきれないほどの人が熱望している理想を実現するには、全ての人の参加が必要です」。教皇の市民運動への励ましと受け止めたい。（Ｉ記）

でいる。一方福浦は未だにその見通しが立たない状態が続いています。福浦の反対する人たちの了解が得られない場合は、北電は志賀町に建設するのでないか。この町の将来のためにも誠に悲惨なことになると推察されます。重大な危機意識の認識を。皆さんのご協力を切に懇願する次第であります。」

水道組合からの圧力

町は水道組合の組織も使ってきました。「公害のない地域発展につながる原発は組合員の絶対多数の方が賛成しています。ところがこれらの方針に反対する組合員がいます。水道組合総会を開催し、この人たち反対者を組合から排除し再編成をしていきたいと思います。ご賛同をお願いします。」

いやがらせの続く中でも

反対派への嫌がらせは益々大胆になります。「割れたガラスが田圃に投げこまれ」、「出刃包丁で殺してやる」など匿名電話が毎晩かかり、「住宅を新築する人には町から建設許可がおりず」、また原発建設推進の署名捺印を強要し毎晩のように三人四人が上がり込んで帰らないことが続きます。

福浦の反対同盟の結束は強く、切り崩しを受けながらも勉強会を続け、チラシを繰り返し撒き続けます。

福浦から赤住へ　乱れ飛ぶ金

一九七〇年一〇月（昭和四五年）

福浦での土地買収を断念。事実上福浦の勝利となったが、陰ではゴルフ場とか子どもの遊び場などとして金を落とし原発の不安は消えなかった。

一九七〇年一一月（昭和四五年）

志賀町議会は赤住地区の追加買収の受け入れを決議する。このころになると北電は見さかいなくお金をばら撒き、坪一五〇〇円の土地が三〇〇〇円になり、終いには一万五〇〇〇円になった。買収地に鉄条網が張られ、海岸も立ち入り禁止になった。

推進派のハンコを押した人たち

第二次買収でこれまでの田圃には入れず、漁師は漁には出られず、生活の不安から、無理やりハンコを押した赤住の人たちの中にも大反対運動が起きました。特に原発炉心から八〇〇mの赤住集落は原発敷地内に孤立することとなり、住民の「赤住愛する会」「赤住船員会」などが生まれた。

一九七一年七月（昭和四六年）

赤住地区臨時総会は「追加買収白紙撤回要求を決議」。この時の在住者は八四戸、全体の七〇％が賛成をした。北電は買収価格を大幅に上げてきた。

日本初、住民投票と結果の反故

一九七二年四月（昭和四七年）

赤住住民三四〇人によって、原発の賛否を問う日本初の住民投票が行われた。三分の二以上の賛成がなければ計画を凍結するもので、記名投票でしたが、外洋の船員からも反対の投票が次々と送られてきて、賛成票が三分の二に届かない見通しになった。

一九七二年五月（昭和四七年）

住民投票に県と町が介入し、翌年三月まで建設の是非を先送りするとして開票をさせなかった。後で推進派は勝手に破棄・焼却する暴挙に出てきた。

北電は「地元協力金」として五億四〇〇〇万円をチラつかせ住民懐柔を行ってきた。

一九七三年三月（昭和四八年）

赤住地区臨時総会は反対派の発言を封じ、推進派の一方的な進行と反対派が抗議退場する中で受け入れを決議した。

一九七三年六月（昭和四八年）

赤住土地改良区の前年換地総会の記録の書き換えが露見する。七六年県の調停で換地調査をやり直すと、反対派の土地が買収予定地（八万坪のうち反対派の土地三万坪）の外側に勝手に換地されており対立が激化していく。

西海漁協のたたかい

一九七五年三月（昭和五〇年）

北電は八漁協（羽咋、柴垣、高浜、志賀、福浦、富来、西海、西浦）に海洋調査協力を要請する。

一九七九年三月（昭和五四年）

漁船二〇〇隻を結集して海上デモを行う。西海漁協青年部、婦人部一〇〇人が県庁と漁連に抗議する。県漁連会長は「西海の意向を無視して、調査受け入れはしない」と約束をした。

七月、団結小屋を赤住に建設。闘いのシンボルとなった。

漁協分断策動の中でも

一九八一年八月（昭和五六年）

西海漁協は「原発は安全性が確認されるまで推進すべきではない」という署名活動をし、有権者の六割以上を集め、富来町議会へ提出した。

五漁協（羽咋、柴垣、志賀、富来、高浜）は違法な海洋調査を受け入れた。

志賀漁協の反対派組合員一九人と福浦漁協の中町良雄さんら四五人は「五漁協の議決無効と決定取り消し」を求めて県に申し入れた。

一九八一年一〇月（昭和五六年）

海洋調査に同意した五漁協に、北電から七億七〇〇〇万円の預託金があったことがわかる。

かたちを変えて

一九八二年（昭和五七年）

石川県は海域漁業調整委員会をつくり共同漁業権区域分割を提起。

狙いは西海漁港を原発から離れた

海域にすることにあった。

西海漁協つぶし

一九八三年一月（昭和五八年）

「西海漁協は違法操業をしている」という某新聞のデマ報道が捏造され、金沢から門前までの一四漁協組合長連名で、西海漁協の中型巻網漁の禁漁区域拡大を求める陳情書を県に提出。これを理由に県は西海漁協に巻網漁の免許を与えなかった。

六月、海洋調査に協力した四漁協に一億二〇〇〇万円支払った。

県は海洋調査を一変して沿岸水産資源調査と言いつくろい、調査に反対する西海漁協、川辺茂組合長に圧力をかけ続け組合長を交代させた。組合長交代後の西海漁協は組合を持ちこたえる力はなかった。

追い込まれた西海漁協は県の調査は「漁業振興のためにしか使わない」との言葉に合意せざるを得なかった。その後、県は六億円の税金を使った海洋調査の結果を、約束に反して、直ぐ北電に四億円で売り払った。

六〇〇〇人の署名で請求した住民投票は議会によって無視され、公開ヒヤリングは北電の集めた人で占められ、形だけを踏んで住民の同意を得たとして暴挙が進んだ。

一九八八年十二月（昭和六三年）

能登原発を志賀原発に名称変更して本体工事着工。

一九九三年七月（平成五年）

志賀原発一号機営業運転。

現地を舞台にした闘いはこのあたりで区切りとなった。

（非核・いしかわ編集部）

◎十一月一三日に開催された原発をなくす石川県連絡会第八回総会・記念講演の発言要旨です。

講演要旨

沖縄で起きていること

～知って、学んで、つながって～

基地・軍隊を許さない行動する女たちの会　高里鈴代

講師の高里鈴代さん

（オール沖縄共同代表）

首里城を復元するときは

今日は沖縄辺野古に新たな米軍基地が建設されようとしている問題について、特に私が関わってきた婦人問題の経験からお話します。

一〇月三一日未明、首里城が完全に焼失してしまった。首里城が焼失したのは四回目、前回の焼失は一九四五年の沖縄戦です。一九四四年四月に首里城地下壕に本土防衛の防波堤として「陸軍三二軍」司令部が創設され、米軍の爆撃により首里城は崩壊・焼失してしまった。

戦時中に日本の植民地支配下にあった韓国、朝鮮、台湾、そして九州や沖縄辻遊郭の女性たちが慰安婦にされ、沖縄全土に慰安所が一四五カ所設けられた。同じ時期に慰安所が一四五カ所できたのではなく、飛行場建設のため部隊が移動するたびに慰安所を移動している。つまり慰安婦問題の本質は、日本軍が後方施設として慰安所を設けていたことである。首里城地下壕でも慰安婦がいたという目撃証言もある。今後、首里城を復元する場合、歴史的事実として地下壕にあった「陸軍三二軍」司令部の再建も要望していきたい。

戦後、沖縄は米軍占領下へ

戦後、一九五二年四月二八日、サンフランシスコ講和条約による日本の独立、主権回復の影で、沖縄は米軍占領下に置かれることになった。一九四七年五月に日本国憲法が施行されたが、沖縄は憲法の埒外に置かれた。同年九月、昭和天皇がマッカーサーに送ったメッセージでは、沖縄の島々の軍事利用と土地の長期使用を認めている。この結果、沖縄は一九七二年まで米軍占領下に置かれることになった。

一九五〇年六月に始まった朝鮮戦争で沖縄は米軍の出撃基地になり、この時期に沖縄の米軍基地が銃剣とブルドーザーでさらに拡張された。

砲弾の音は止み

米軍の「新たな戦争」が

朝鮮戦争が終わった後、米軍の「新たな戦争」が起こった。それは米兵による女性に対する強姦、性暴力であり、たくさんの目撃証言がある（「戦後・沖縄米兵による女性への性犯罪」年表を紹介）。

戦争が終わって砲弾の音は止んだはずなのに。米軍占領下の二七年間の米軍人の犯罪は全てが軍法廷で裁かれ、加害者はほとんど不処罰である。

朝鮮戦争の次のベトナム戦争（一九六五年～一九七五年）では、ベトナム帰還兵の性的攻撃の受け皿として全

ての基地の周辺に米兵を相手に働く女性たちの管理売春施設がつくられた。経済的に貧しい女性たちがドルの稼ぎ手となり、多額の前借金による強制管理売春が肥大化していった。

米軍駐留で人権侵害がつづく

全国面積の〇・六％の沖縄に在日米軍基地の七〇・六％が置かれ、沖縄本島の約一五％を基地が占有している。在沖米軍の軍人は約二五〇〇〇人、軍属・家族も約二五〇〇〇人が沖縄にいる。基地は静止している場所でなく、毎日軍事演習しているところであり、戦後七四年間、基地から派生する戦闘機の爆音、墜落事故、演習による事故、環境汚染など様々な問題が起きている。そして米兵が基地の外でも多くの事故・事件を起こして住民の生活、生命を侵害し、女性、子どもへの性暴力、人権侵害が続いている。基地の中はアメリカの法律が適用され、駐留する軍人・軍属の地位は日米地位協定で守られている。

在日米軍の施設・区域面積は沖縄は七〇・六％、日本本土は二九・四％、軍人数も沖縄は七〇・四％、本土は二九・六％であり、いずれも沖縄が七割を占めている。米国の軍人は世界中で一二九万人であり、米国内に一一二万人、海外に一六万三千人、そのうち五万五千人が日本に駐留している。海外に駐留する米軍人は日本が最も多く、その大半が沖縄に集中している。

「沖縄の負担軽減」と日米同盟関係の強化

辺野古の新基地建設のきっかけになったのは、一九九五年の三人の米兵による一二歳の少女レイプ事件で、八五〇〇〇人の沖縄県民が抗議の県民集会を開いたこと。この大きな抗議の声に押されて同年一一月に日米政府は沖縄に関する特別行動委員会（ＳＡＣＯ）を設けて、沖縄の負担軽減として「普天間基地の辺野古移設」と「北部訓練センターの過半の返還」で合意した。しかし、あれから二三年経ったが、軍隊の撤退や削減、軍事演習の削減はなく、沖縄の負担軽減は全く実施されていない。むしろオスプレイ配備に使うため北部訓練センターに六個のヘリパットを建設し、読谷村の通信機器「象の檻」は返還したが、日本の思いやり予算でキャンプハンセン内にさらに大きな通信基地を新設するなど、基地機能を巧妙に強化して日米同盟関係を深化している。

活断層と軟弱地盤問題が惹起

辺野古新基地建設をめぐって二〇年余、抵抗してきた中で新たな問題が惹起してきた。それは基地建設予定地に活断層が走っていることと、軟弱地盤が発見されたこと。この問題は防衛省も認めている。膨大な建設費用がかかり、軟弱地盤工事も長期になることは明らかである。

沖縄の海も山も総力挙げて「新基地ＮＯ！」の声を上げているのではないか。私たちは現場で闘い、裁判に訴え、国連人権委員会など国際社会にも訴えながら今、抵抗している。本当に辺野古に新基地が必要なのか、果たして私たちの安全や命は守られるのか、辺野古の問題は日本全体の問題として受け止めていただきたい。

（非核・いしかわ編集部）

◎一一月三〇日、石川県女性センターで開かれた「学び舎　美ら海」講演会の要旨です。

非核・平和のひろば

「安政の泣き一揆」の足跡を訪ねて

永山孝一

安政五年七月一一日は金沢の歴史の上で大きな出来事がありました。コメが買えなくなって飢えた町の人たち二〇〇〇人以上が、二晩にわたって高台に上り、金沢城に向かって「米よこせ」と大声で叫んだのです。

〝ひだるいわいヤー！〟

〝ひもじいわいヤー！〟

〝こめくれまいヤー！〟

いわゆる『安政の泣き一揆』です。町の人たちが、自分の意思で集まり、藩主に向かって声をあげた・・・。これは、金沢の歴史の中で大きな重い出来事だと思います。

この泣き一揆をきっかけにいろいろなところで一揆が始まりました。首謀者とされた七人はとらえられ、さらし首になります。この七人を悼んで街の人々は、七体の地蔵さまをつくりました。（「案内書」より）

＊　＊

石川県学習協の「資本論」学習会恒例の秋の研修会が、十一月二六日午後二時より紅葉に彩られる卯辰山麓、東山・寿経寺スタートで会員ほか十三名が参加して行われました。

はじめに、七稲地蔵が安置された浄土宗・光明山寿経寺にて、ご住職から浄土宗開祖法然上人のこと、創建が一六二三年の寿経寺のこと、七稲地蔵に関わる安政の金沢町人の話などを詳しくお聞きしました。

お話のあと参加者たちは、卯辰山か

らお城に向かって発せられた人々の声は届いたのだろうか?と、その「日暮ヶ丘」へと目指しました。

一行は、卯辰山の頂上にある玉兎ヶ丘の「庚申塚」を見学して、紅葉に染まる「見晴らし台」から金沢の夕景を見た後、中腹にある「日暮ヶ丘」を訪ねました。現在は復元された金沢城の菱櫓・五十間長屋などが、一km先にはっきりと見えました。

安政五年七月一一日、ここから二〇〇〇人を超える金沢町人が声をそろえて叫んだのです。

東山・観音町　七福地蔵が安置された浄土宗・光明山寿経寺

非核石川の会リレーエッセー

沖縄と憲法九条の碑

米山幸子

今年六月一六日、沖縄スタートの国民平和大行進の通し行進者として沖縄県辺野古から長崎の爆心地公園へ歩いて来た。以前沖縄の県内行進は楽しいよ!と教えられて、単独で沖縄県内の行進だけを体験した私。その時も足を踏み入れた南風原町黄金森公園だった。そこには大きな石碑に憲法九条が刻まれていたことはしっかり記憶していた。

今年通し行進者として六月二一日夕方この石碑に対面した時、説明して下さった地域の九条の会の方が「沖縄にはこのような憲法九条の碑が此処だけでなく各地に建てられています」と話され、ここだけだと思っていた私は驚きました。

平和行進終了後、自宅でパソコンで沖縄県下の九条の碑について調べましたら、沖縄タイムス紙、赤旗新聞HPなどに詳しく記載がありました。

沖縄県民の皆さんが憲法九条に寄せる思いの深さをしっかり学ぶことが出来ました。この七本の九条の碑はその全てが自治体管理されています。

これは先の大戦で唯一地上戦ありが住民を巻き込み、県民の四人に一人が命を奪われたという悲惨な歴史からどんなことがあっても戦争はだめ!という思いが強く共有されているからでしょう。

沖縄県以外で九条の碑が設置されている所は、石川県が三基、茨城県、長野県が二基、広島県、岡山県、岐阜県、静岡県がそれぞれ一基という状況を見ても、沖縄県の七基が際立っているがこれは、唯一非戦闘員を含め地上戦が、悲惨極まる戦闘を体験したことが大きな要因ではないか。

（神奈川県横須賀市在住）

【編集部より】

米山幸子さんは、二〇一八年六月に原水爆禁止国民平和大行進の通し行進者として石川県内を行進した際に会報「非核・いしかわ」サポート会員に登録された方で、会員リレーエッセイに寄稿いただきました。

大宜味村・村役場敷地内の９条の碑

氷河が示す気候変動の危機

河野晃

近年の多発する台風関連の大水害にみられるように、気候変動の問題は深刻になっている。

地球が自転している関係で、大陸の西側は雨が少なく、東側は雨量が多い。日本は大陸との間に日本海があるので特別に雨量が多い。大陸の西側に位置するヨーロッパ等では、雨量の減少、砂漠化への危機感が強まり、ヨーロッパアルプスの氷河が急速に減少していることが話題になっている。

＊　＊　＊

フランスのローヌ川の夏期の水量の四分の一以上が、アルプスの氷河由来であるという研究がある。氷河の河川水への供給は今世紀半ばまでしか見込めないという。ローヌ川の沿岸には多数の原発があるが、ローヌ川の水量が減少すれば原発への冷却水の供給が不安定になる可能性がある。冷却水がなければ原発は暴走し破滅する。アメリカ大陸西側でも、カリフォルニア州の大規模山火事など、砂漠化への危機感が高まっている。

二〇一二年にアラスカのエクジット氷河（北緯六〇度付近）を訪れた時、ガイドの女性は「ロシア革命があった一九一七年には、ここまで氷河があったのですが、一〇〇年足らずで、あんな向こうまで後退してしまいました」とのわかりやすい解説をしてくれた。（下の写真）

安倍政権の「世界を俯瞰する外交」でトルコなどへの原発輸出が膨大な経費をかけて推進されたが、無残な失敗に終わった。だれがその責任をとるのか。米国のトランプ大統領はパリ協定離脱を国連に通告した。

国連の気候行動サミットで、一六歳のスウェーデンのグレタさんは「あなた方の話すことは、お金のことや永遠に続く経済成長というおとぎ話ばかり。よくそんなことが言えますね」と発言した。

アラスカのエクジット氷河

1917年当時はこの標識まで氷河があった現地を歩きました

非核＋非ＡＩ兵器

伍賀一道

ＮＨＫ（ＢＳ１）で一一月一七日に放送された「よみがえる悪夢―知られざる核戦争危機」は、一九七三年の第四次中東戦争の際、対立するエジプトとイスラエルの背後で米ソ両大国が核戦争寸前の警戒レベルに至ったことを報じました。

一九六二年にも同じようなことがありました。キューバ危機です。当時、私は中学三年生、岡山県の真ん中、いま「天空の城」で有名になった備中松山城のある高梁市（たかはし）に住んでいました。両親や祖母の会話をとおしてただ事ではない事態が迫っていることを感じました。米ソ間で核戦争になれば、米軍基地がある日本もその標的になることは明らかです。田舎町にも核の灰は降ってくる。恐怖の一週間でした。

この危機を回避できたのは偶然がもたらした幸運だったことが明らかになっています（ＮＨＫスペシャル「一〇月の悪夢―キューバ危機戦慄の記録（前編・後編）」一九九三年四月二九日、三〇日放送）。

いま軍事利用を目的にＡＩの研究が急ピッチで進んでいます。人間を介さずＡＩみずからの判断で人命を奪うＡＩ兵器（完全自律型致死性兵器）を規制することが国際会議で議論されていますが、実効性のある体制ができあがるのか不透明です。ＡＩが軍事作戦を指揮するようになるとの指摘もあります。

私が最もおそれるのは核ミサイルの発射をＡＩにゆだねる事態です。国同士の対立が深刻化し、紛争に至った場合、自国の被害を最小限にし、相手国に最大のダメージを与えるタイミングで核ミサイルを発射するようにＡＩに指示することはないだろうか。双方の国が同じようにＡＩに指示したらどうなるか。ディープラーニング（深層学習）とやらでＡＩが進化したとしても、人間の尊厳や人類の生存を

至上命題と自覚することはない。それは七〇〇万年に及ぶ人類の歴史に終止符を打つほどの深刻な影響をもたらすでしょう。

ＡＩ兵器（例えば手のひらサイズのＡＩドローン殺人機）は核兵器以上に人類にとって脅威となるとも言われています。ＡＩ兵器の禁止を求めるＮＧＯが作成した動画には次のような場面があります。

「ドローンが搭載するＡＩは、インターネットのＳＮＳ上にあふれる写真や交友関係、宗教、思想などの個人情報から収集分析されたターゲットの人々を瞬時に識別。『殺すべき相手』を見つけると次々に『正確に』殺害していく…。」（＊）

独裁者がこれを手にするとどうなるか。「非核＋非ＡＩ兵器」― 私たちは重たい課題を背負うことになりました。

（＊）https://www3.nhk.or.jp/news/html/20190906/k10012064971000.html

もんじゅには・・・

岩原茂明

もんじゅにはワイロの智慧が
つまってる　一角

原発の裏金のことは早くから識者が指摘していたが、その証拠がなかった。ところがここにきて、高浜町の助役をキーパースンに福井県全体の市町村に張り巡らされた、裏金の分配の構図が明らかになっている。

智慧の神であるという文殊菩薩、そこから名前を剽窃した、この放射能とナトリウムの化け物は、裏金の智慧で満たされていた。おそらくは志賀原発も同じ構造なのだろう。

時を同じくして、東京の総理主催の「桜見の会」が、安倍総理のワイロ分配の道具にされていたことがあかるみに出てきた。ワイロで満たされた政界とワイロで満たされた原発、同じ構図だろう。そして、ネット上でも怒りがうずまいている。モリカケ問題の時とは違うのは、ワイロが広範なところだ。

今こそ、非核の日本をつくるため市民は街へ出よう。孫のおられる方は孫を負ぶって。

詩人会議かなざわ「独標」より

届きましたか・・・

山口修治

ハンセン病患者家族にも差別被害があった
それは　あまりにも当然のことなのですが
6月28日の熊本地裁での勝訴判決
浅井あいさん
あなたに　届きましたか…
そして
国も控訴を断念し判決が確定したことも

２００１年
立法不作為も断じた熊本地裁
あれから18年
遅いとはいえ家族被害も国が断罪されました
それは
あなたたちの　血もにじむような闘い
人権を掲げた闘いが導いた判決です
今日は8月3日
あなたの14回目の命日ですね
あなたをしのび
あなたと勝訴判決を喜び合いたくて
奥卯辰山のあなたの墓前に集いました

あなたの家族への思い
家族のあなたへの思い
集った方々に　あらためて紹介され
僕等は涙しました

そして
浅井さん　よかったね　と
あなたに声をかけました
届きましたか・・・

編集室より

◎本紙三、四面に掲載したオール沖縄共同代表の高里鈴代さんの講演終了後、司会者から高里さんの言葉「沖縄とヤマトの間には関心の差、問題意識の差、情報量の差の三つの差がある」ことが紹介され、この差を埋めるため継続して沖縄に関心を持ち、知って、学んで、つながっていきましょう、と締めくくられた。平和行進で沖縄を行進された米山幸子さんのエッセー「沖縄と憲法九条の碑」では貴重な情報を提供いただいた。沖縄の実情に学んで関心を持ち続けていきたい。（か）

◇トピックス◇

「核兵器禁止条約」に三四か国が批准

核兵器禁止条約は、五〇番目の批准書が国連事務総長に委託されてから九〇日後に発効します。一一月二五日、新たにアンティグア・バーブーダが同条約の批准書を国連に寄託し、批准国は三四か国となり、発効に必要な批准まであと一六か国になりました。これまで八〇か国が署名しており、二〇二〇年の条約発効が期待されています。

日本政府に「核兵器禁止条約」の早期実現に向けた取り組みの推進を要請

平和首長会議

一一月二八日、平和首長会議は「第九回平和首長会議国内加盟都市会議」（一〇月二五日、東京都国立市で開催）の決議に基づき、核兵器廃絶に向けた取り組みの推進について、内閣総理大臣宛に要請文を提出しました。要請文では「日本政府には、一刻も早く核兵器禁止条約に署名・批准していただくよう強く要請します。そのことが、核保有国と非核保有国の橋渡し役を果たすことは間違いありません」と述べています。

いしかわの戦争遺跡めぐり④

フォトグラファー　中西　優

美しい朝陽がのぼる七尾湾

第二能登丸事件犠牲者の名が刻まれた忠魂碑

穏やかな波に守られ、美しい景観の七尾湾。カキの養殖やイルカウォッチング、温泉街など観光地としても人気があります。

しかし太平洋戦争末期には、軍需品や食料の運搬を阻止しようとする米軍によって湾内に機雷が設置されていました。

一九四五年八月二八日には勤労動員で来ていた約五〇人を乗せた第二能登丸が機雷の爆発に巻き込まれ、二八人が犠牲になる事故が発生していたことはあまり知られていません。実際に軍と軍がぶつかり合う戦地以外でも戦争が多くの人を犠牲にしてきた事例の一つとしてその記憶を現在に残しています。

（左上の写真は七尾市鵜浦町）

絵手紙コーナー

金沢医療生協絵手紙班

坂本朋子

非核・平和の掲示板

月	日	曜	時	内　容	会場
1	1	水・休日	10:00	核兵器廃絶 2020元旦署名行動	金沢市尾山町・尾山神社前
	9	木	12:30	核兵器廃絶 6・9署名行動	金沢市武蔵町・エムザ前
	11	土	14:00	子育て支援シンポジウム（基調講演　松田洋介さん）	金沢市富樫3丁目・金沢市教育プラザ1号館
	19	日	13:30	地域医療の充実を求める学習会（問題提起　長友薫輝さん）	金沢市京町・石川勤労者医療協会会館3階
	26	日	13:30	北陸原水協学校inとやま（記念講演　大越　文さん）	富山市湊入船町・サンフォルテ
2	2	日	14:00	いしかわ自治体問題研究所・総会記念講演（講師　岡田知弘さん）	金沢市青草町・近江町交流プラザ4階
	6	木	12:30	核兵器廃絶 6・9署名行動	金沢市武蔵町・エムザ前
	8	土	13:30	新春社会保障講演会（講師　松尾匡さん）	金沢市下本多町・金沢歌劇座2階
	23	日	13:30	原水爆禁止石川県協議会総会	金沢市上荒屋1丁目・石川学習会館2階
	29	土	15:00	医療・福祉問題研究会例会（講師　黒梅明さん）	金沢市高岡町・松ヶ枝福祉館4階
	29日（土）～3月1日（日）			3・1ビキニデー	静岡市及び焼津市

＊祝日は休日とします　＊毎週金曜日 18:30／どいね原発！ 金沢駅兼六園口　＊毎月15日 12:00／石川県沖縄連帯デー　エムザ前

*会報「非核・いしかわ」サポート会員を募集中　年会費 2,000円　ゆうちょ銀行口座　00760－0－15689